

## 第 2 章

### 活動組織及び活動計画

---



## 第2章 活動組織及び活動計画

### 2-1 活動組織

本報告の活動組織は次のとおりである。

#### 2-1-1 課題代表者

課題代表者	所属・職位
浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授

#### 2-1-2 課題実施者

課題実施者	所属・職位
浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
槇原 大悟	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
松本 哲夫	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
伊藤 香純	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
花里 信彦	名古屋大学大学院生命農学研究科・特任教授
課題協力者	所属・職位
海上 智昭	名古屋大学大学院教育発達科学研究科・博士課程後期

#### 2-1-3 海外支援ニーズ現地調査担当者

海外ニーズ調査担当者	所属・職位
浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
槇原 大悟	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
島田 清司	名古屋大学大学院生命農学研究科附属鳥類バイオサイエンス研究センター・教授
大場 祐一	名古屋大学大学院生命農学研究科・助教
花里 信彦	名古屋大学大学院生命農学研究科・特任教授
小島 泰典	名古屋大学国際部・部長
渡邊 和男	筑波大学大学院生命環境科学研究科・教授
納口 るり子	筑波大学大学院生命環境科学研究科・准教授
山口 良二	宮崎大学農学部・教授
位田 晴久	宮崎大学農学部・教授
緒方 一夫	九州大学熱帯農学研究センター長、教授
酒井 謙二	九州大学大学院農学研究院・教授
中野 秀雄	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授

伊藤 香純	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
-------	-------------------------

#### 2-1-4 キーワード選定委員

昨年度に続き、課題代表者の下、全国の大学から委員（17名）を選定し、キーワード選定委員会を設置した。当該委員会は、リソース・ニーズ調査で使用するキーワードを選定するために任用された、各領域で活躍する研究者である。また、この17名の委員会は、以後の農学知的支援ネットワーク形成の礎となる最小規模のネットワークとしても捉えている。

キーワード選定委員	所属・職位
緒方 一夫	九州大学熱帯農学研究センター長、教授
山内 章	名古屋大学農学国際教育協力研究センター長、 名古屋大学大学院生命農学研究科教授
三宅 博	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授
榎原 大悟	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
中野 秀雄	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授
浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
早川 茂	香川大学農学部・教授
福島 和彦	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授
宗宮 弘明	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授
有元 貴文	東京海洋大学海洋科学部・教授
坪田 邦夫	九州大学アジア総合政策センター・教授
竹谷 祐之	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授
久保 成隆	東京農工大学農学部・教授
酒井 憲司	東京農工大学農学部・准教授
山口 良二	宮崎大学農学部・教授
前多 敬一郎	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授
林 幸博	日本大学生物資源科学部国際地域開発学科・教授
酒井 謙二	九州大学大学院農学研究院・教授

#### 2-2 活動期間

平成20年9月9日～平成21年3月19日

### 2-3 活動日程

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オープンフォーラム開催準備												
オープンフォーラム開催												
知的支援ネットワーク事務局開設												
共同提案プロジェクト具体案作成												
国内リソース・海外ニーズアンケート実施準備												
国内リソース・海外ニーズアンケート実施												
海外ニーズ現地調査実施												
リソース・ニーズのマッチング分析												
報告書作成												
国内報告会												

### 2-4 成果物

計画に基づく本事業の遂行により、下の成果を得て、本報告書に所収した。

- a) 農学知的支援ネットワーク参加大学のリスト（本報告書記載）
- b) 農学知的支援ネットワークの事務局準備室
- c) 農学知的支援ネットワークの制度設計および活動内容に関する報告書
- d) 農学知的支援ネットワーク活用によるプロジェクト形成方針および留意点に関する報告書
- e) 国内外の知的リソースおよび支援ニーズに関する報告書（本冊子および CD-ROM）

### 2-5 活動資金

7,999 千円